

## 事後評価調書

I 事業概要						
事業名	交通安全対策事業（交差点改良事業）					
地区名	しゅうちほうどう なごやかにえやとみせん 主要地方道 名古屋蟹江弥富線					
事業箇所	あまぐんかにえちようすなりにし 海部郡蟹江町須成西10 丁目					
事業のあらまし	<p>本路線は、名古屋市と弥富市を結ぶ東西交通の広域幹線道路であり、当該交差点は蟹江町内を南北に走る広域幹線道路主要地方道一宮蟹江線との交差点であることから、常に交通量が多く、右折車両も多い。</p> <p>しかしながら、当該交差点には右折車線がないため、右折待ち車両が後続の直進車の通行を阻害することによる渋滞が発生しており、また、右折待ち車両と対向車両との事故も多く発生していた。こうした背景から、本事業は交差点改良を実施することにより、交通事故の削減及び交通円滑化を図ったものである。</p>					
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>○交通死傷事故の削減</p> <p>○交通円滑化・渋滞軽減</p> <p>【副次目標】（事前評価時に設定した場合、記載する）</p> <p>なし</p>					
事業費	事業費		内訳			
	0.8億円		□工事費 0.7億円、□用補費 億円、□その他 0.1億円			
事業期間	採択年度	2015年度	着工年度	2015年度	完成年度	2017年度
事業内容	交差点改良工事（右折帯設置） L=290m					
II 評価						
①事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>○事業実施前後の「死傷事故件数」と「死傷事故率」を比較</p> <p>年平均死傷事故件数(件/年) 1.25 (2011-2014) ⇒ 0.25 (2017-2020) 削減率 80%</p> <p>死傷事故率 (件/億台年) 94.6 (2011-2014) ⇒ 18.1 (2017-2020) 削減率 81%</p> <p>○右折帯が整備されたことにより、直進左折車との分離が図られ、右折待ち車両による渋滞の緩和及び通行車両の安全性が向上している。</p> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>右折帯の整備により、交通の円滑化・渋滞軽減ができ、「死傷事故件数」と「死傷事故率」の改善が見られた。以上のことから交差点の事故防止が図られ、通過交通への安全性が向上したことより、当初の目標を達成している。</p>				
	2) 副次目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>—</p> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>—</p>				
III 対応方針						
今後の事後評価の必要性	初期の事業目的を達成し、安全・快適な歩道が整備されていることから、今後の事後評価の必要性はない。					
改善措置の必要性	事業目標に対する効果が十分に発現しており、新たな課題も見られないため、改善措置の必要性はないものとする。					

同種事業に反映すべき事項

標準的な事業計画、事業プロセス、工法で施工されているため、同種事業に反映すべき事項は特にない。